

16歳から26歳のあなたとそのご家族へ

子宮頸がんワクチン打っていますか？

子宮頸がんワクチンの無料接種は

令和7（2025）年3月末で終了です！！



少なくとも7月にまでに
接種開始しないと無料
期間内に終了できないよ！

子宮頸がんとは

日本では毎年11000人が発症し、年間3000人もの人が命を落としています。20歳～40歳代の若い女性に多いがんでライフサイクルにとっても大きな影響を与えてしまいます。子宮頸がんの原因の多くはヒトパピローマウイルス（HPV）といわれています。子宮頸がんワクチンはそのヒトパピローマウイルスの感染を防ぐ効果の高いワクチンなのです。子宮頸がんの予防にはワクチン接種と併せてがん検診を受けることも大切です。

キャッチアップ キャンペーンとは

平成9年度生まれ～平成18年度生まれの女性で、定期接種の対象年齢（小学校6年から高校1年相当）の間にHPVワクチン接種を逃した方は現在、公費（無料）でワクチンを受けることが出来ます。ただし、2025年3月末で終了予定です。期間終了後に有料で接種すると約10万円（3回接種）かかります！

ヒトパピローマ ウイルス（HPV）とは

HPVは性交渉の経験がある女性のうち50%～80%は、HPVに感染していると推計されています。性交渉を経験する年頃になれば、男女を問わず、多くの人がHPVに感染します。そして、そのうち一部の女性が将来、子宮頸がんを発症することになります。また、男性においても肛門がんや陰茎がん等の原因ウイルスと言われています。

HPVワクチンの 安全性について

HPVワクチンについては、大規模な調査研究の結果、重い副作用の発生頻度が接種した人と接種していない人との間で差がなかった（ワクチン接種と関係がない可能性が高い）と報告されています。

安全性に関する情報
（日本産婦人科学会）



子宮頸がんワクチンのあれこれ

♥ HPVワクチンの種類と接種間隔（厚生労働省HPより）



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。

※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2-3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上（※2）、3回目は2回目から3か月以上（※3）あけます。

※4-5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上（※4）、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上（※5）あけます。

♥ 接種前に迷ったらここに相談

□ 滋賀県小児保健医療センター
（予防接種センター）

TEL: 077-582-6296

※受診相談の際は初診料がかかる場合があります

受付日時

（火）9時～12時30分、13時30分～16時30分

（水）9時～12時

（木）13時30分～16時30分

□ 厚生労働省

（感染症・予防接種相談窓口）

TEL: 0120-331-453

受付日時

午前9時～午後5時

※土日祝日、年末年始を除く



♥ 接種後の症状に悩んだらここに相談

HPVワクチン接種後の症状や相談に関して、滋賀医大附属病院が協力医療機関となっています。

まずは接種した医療機関にご相談のち、協力医療機関にご連絡してください。

□ 滋賀医大附属病院
母子女性診療科

（患者支援センター）

TEL: 077-548-2576

※土日祝日、年末年始を除く

まずは接種した医療機関へご相談を



予防接種後症状に関する情報
（HPV予防接種拠点病院整備事業HP）

□ 接種までのながれについては滋賀県HPをご覧ください

